

希望出生率についての考え方

- ・ これまで本県では、「希望出生率」は、国民（県民）の結婚や子育ての希望がなかった場合の出生率であるとして、国で試算されていた国民希望出生率を参考に富山県民の「希望出生率」を算出し、合計特殊出生率との比較により、希望の実現の度合いを測ってきた。
- ・ しかしながら、合計特殊出生率については、若い女性が転出超過となっている本県のような地域では、未婚女性の転出だけで出生率が上昇してしまうこともあるため、合計特殊出生率で少子化の状況を測るのは難しいと思われる。
- ・ また、今回の基本計画（案）の目標にも盛り込んだ「若い男女の視点に立ち、多様な価値観・考え方を前提とする」という考えを踏まえると、計画の推進に当たり、「希望出生率」を用いることが、価値観の押し付けと捉えられてしまう懸念もあるのではないかと考える。

これらを踏まえ、今回の基本計画（案）では、「希望出生率」や「合計特殊出生率」を指標として用いない。本計画は、「若い男女の視点に立ち、多様な価値観・考え方を前提として、希望する人が結婚・出産・子育ての将来展望を描ける環境をつくる」ことを目標に掲げ、様々な施策を盛り込んだところ。官民一丸となって若い世代の希望が叶うよう対策を進めていく。

希望出生率について

(参考) 合計特殊出生率について

合計特殊出生率・・・15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもの
➡ 1人の女性がその年齢別出生率で一生の間に生むとしたときのこどもの数に相当

$$\text{合計特殊出生率} = \left\{ \frac{\text{母の年齢別出生数}}{\text{年齢別女子人口}} \right\} \text{15~49歳までの合計}$$

↑
(既婚女性 + 未婚女性)

【留意点】

女性を中心とした転出超過が発生している地方においては、次のような現象が起こることもある。

(若年女性の転出前)

	女性	子	出生率
40代	40	4	0.10
30代	30	25	0.83
20代	20	10	0.50
10代	10	1	0.10
	100	40	1.53

(若年女性の転出後)

	女性	子	出生率
40代	40	4	0.10
30代	30	25	0.83
20代	15	10	0.67
10代	8	1	0.13
	93	40	1.73

} 未婚女性が転出

分母要因が減少したことで、合計特殊出生率が上昇してしまう。

➡地方は合計特殊出生率が良いから大丈夫と勘違いしてしまう恐れがある。